



発行所 磐城日日新聞社 福島県磐城市港通51 電話387番 編集人 櫻村清

小名浜名集 潮の華 磐城市小名浜港 株式会社 國華堂 電話 本店四六一番 支店一七七番

再刊に際して

磐城市長 立花秀吉



本日常市に於て開催されと大なる苦心を要する... 再刊に際して

再刊を祝して

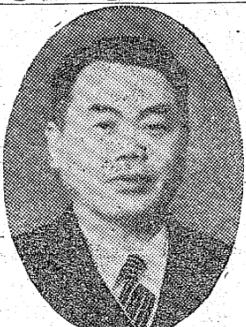
磐城市議会議長 長瀬彰義



環たる常磐地区開港の中が再刊の運びに至りまし...

再刊に當つて

県議會議員 小野義一 土木常任委員長



用する様な事業対策、道路網の整備がなかつた...

再刊を祝す

名浜信用倉庫 理事 志賀要平 磐城市古港五五 電話二九番

社告

種々準備の都合がありますので、月末まで休刊、六月一日から新聞用扁平活字を使用し、日刊として発行致します

磐城日日新聞社

磐城日日再刊を祝して

磐城市区長会連合会長 太田武彦

この見地から大磐城市展の爲には磐城日日の使命は重大であり、磐城市と共に生きる新聞として、厳しいトウ汰にあつて、地域社会の発展と共に正しく明るい新聞として、

市政施行以來磐城市は港市政と市民の緊密な連繫を以て郷土の発展は、文の擴充強化に従ひ工業と交流により、地方自治化の向上による市民の福

都市として磐城市の建設は確立され、眞の民主政社増進と共に、民主主義に於いて輿論の啓蒙の處大であります。

が、名実共に今日あるに至るは報道にまつところ大に於いて輿論の啓蒙の處大であります。

然し乍ら大磐城市の完成と共に生きる報道機関で、然し乍ら大磐城市の完成と共に生きる報道機関で、

市勢の発展は市民の協力、然し乍ら大磐城市の完成と共に生きる報道機関で、

歩を踏み出す事となり、全市民の総力を結集し目的の達成のため奮起すべき

重なる時機である、大磐城市唯一の日報新聞として、今磐城日日新聞社

に於ける大新聞として、発展されまます事を心から、

「新聞は公器なり」との責任を有して居り、

「新聞は公器なり」との責任を有して居り、

「新聞は公器なり」との責任を有して居り、

「新聞は公器なり」との責任を有して居り、

「新聞は公器なり」との責任を有して居り、

「新聞は公器なり」との責任を有して居り、

「新聞は公器なり」との責任を有して居り、

「新聞は公器なり」との責任を有して居り、

# 才九回福島県社会事業大会

## 本日小名浜高校で開催

### 来会者一千二百盛會を極む

第九回福島県社会事業大会は福島県、福島市、社会福祉協議会、福島県国民健康保険団体連合會、磐城市、磐城市福祉協議會の連合主催で二十一日午後一時から磐城市小名浜高等學校講堂で開催された。

厚生大臣代理を始め、各関係団体代表、木村、石原、松平各参議院議員、平田代議士、立花磐城市長等多数の来賓を始め出席者約一千二百名に及び盛況を呈した。

## 式 辭

才九回福島県社会事業大会会長 福島県知事 大竹 作摩

先ず物故福事事業関係者の慰靈の黙禱、国歌斉唱の後、大会会長の式辭によつて始められ、社会福祉事業功勞者の表彰があつて来賓の祝辭、表彰者答辭、福島県民生部長の福事事業概況報告があつて、磐城市長立花秀吉氏を大会議長に選出、大会議事に入つた。

## 県社会福祉事業大会を迎えて

磐城市民生委員 堀越 定吉 連合協議会議長

休後第一會、議題、世帯更生運動の推進強化について、を小名浜高等學校で第二會、議題、青少年の保護育成について、小名浜第二小學校で第三會、国民健康保険振興について、を小名浜第一小學校でそれ、開

本日第九回福島県社会事業大会は、當縣社会福祉事業に関する我が城市に迎へました事は、我縣城市の現況につきまじ、民生委員一同等しく感ずるは、市の事務局より詳細に耐えぬ、一面又その経済状態の悪化に伴へば、遺憾なきを期したいと、終援護者の年と共に増大の念、思ふに戦後順に社会心に耐へない所である、

法は近代社会福祉事業の務の重大なることを痛感基本原則を基礎としたし、その目的と進むべき方向を明示したものであります。

一、堂に会し研究討議を盡し、之が打開を期せんとす事は、社会の爲め洵に意欲深い物であると確信致す次第であります。

第三回日曜画家クラブの繪画の展示が磐城市中央公民館ホールで二十日、二十一日迄開催され、同好の士及一般市民の來場をまつて居る。

- 民生委員職務精勵 功勞者
- 常磐市 樋口 ソウ
  - 磐城市 堀越 定吉
  - 勿来市 山際 理藏
  - 外八名
  - 民生委員として世帯更生優良私設福祉事業施設功勞者
  - 功勞者 山本 幸吉
  - 好間村 山本 幸吉
  - 外二名福島市敬香會 外九団体
- 民生委員多年勤績 成績優良者
- 四倉町 高木 林平
  - 川前村 白土 廣衛
  - 勿来市國井八郎左エ門
  - 外二名

然しながら最近の國內情勢をみましますに國民生活の安定と向上には今尚多くの困難が予想されます。

何卒今後共に社会福祉事業の発展のため御協力と御支援のあらんことを切望いたします。

終りに各位の御健康と御健闘を祈り私の御挨拶といたします。

法は近代社会福祉事業の務の重大なることを痛感基本原則を基礎としたし、その目的と進むべき方向を明示したものであります。

一、堂に会し研究討議を盡し、之が打開を期せんとす事は、社会の爲め洵に意欲深い物であると確信致す次第であります。

第三回日曜画家クラブの繪画の展示が磐城市中央公民館ホールで二十日、二十一日迄開催され、同好の士及一般市民の來場をまつて居る。

## 人事往來

昨二十日午後二時から磐城市で開かれた全國工業用水促進協議會に左の諸氏が出席した。

- 磐城市長 立花 秀吉
- 全議長 長瀬 彰義
- 県議会上本常任委員長 小野 義一
- 日本水素工業(福託) 大和田 彌一

## 貸間

八畳一間 四疊半一間 御希望の方は花畑の大澤宅にお出下さい

## 天気予報

(今晚) 北よりの風、のち晴れ、明日、北又は東よりの風、くもりで初め晴れることもありますが、遅くなつて一時小雨がふるかも知れません。

# 祝 第九回福島県社会福祉事業大会

- 福田 電話(磐城)一七番
- 葉田 電話(〃)三五〇番
- 田屋 電話(〃)二四番
- さし屋 電話(〃)二三九番
- 新米 電話(〃)八番
- 盛館 電話(〃)四番
- トバ庄 電話(〃)三三〇番
- ノ屋 電話(〃)三七番
- 子屋 電話(〃)三九四番
- 里庄 電話(〃)二七五番
- 瀧館 電話(〃)一〇三番
- 浜館 電話(〃)二九番
- 大館 電話(〃)二二二番
- 切大 電話(江名)一〇番
- 野屋 電話(〃)六九番
- 口屋 電話(〃)二四〇番
- 藤屋 電話(〃)一一〇番
- 月屋 電話(〃)三五番
- 森屋 電話(〃)三五五番
- 形屋 電話(〃)五九番
- 電話(常磐)四番

第九回福島県社会福祉事業大会

喜太藤錦 久田屋

電話(泉)一〇番 電話(泉)一八番 電話(泉)一四番

「オイ兄弟、うまい酒を売つてる店を知つてるか!」 「ナニ、うまい酒、キマツテルネ、清水屋のセイセカイ。」

県て保証している

## 火災共済

あなたの生活を 守りましょう

福島県共済商工協同組合 磐城支部

責任者 飯塚 勝

TEL 430

蒲焼 仕出し

橋本 電話 二二八番

下町 電話 四三〇番

一丁目 電話 四五一番